

官営八幡製鐵所



遠賀川水源ポンプ室(中間市)(非公開施設)
写真提供:新日鐵住金(株)八幡製鐵所

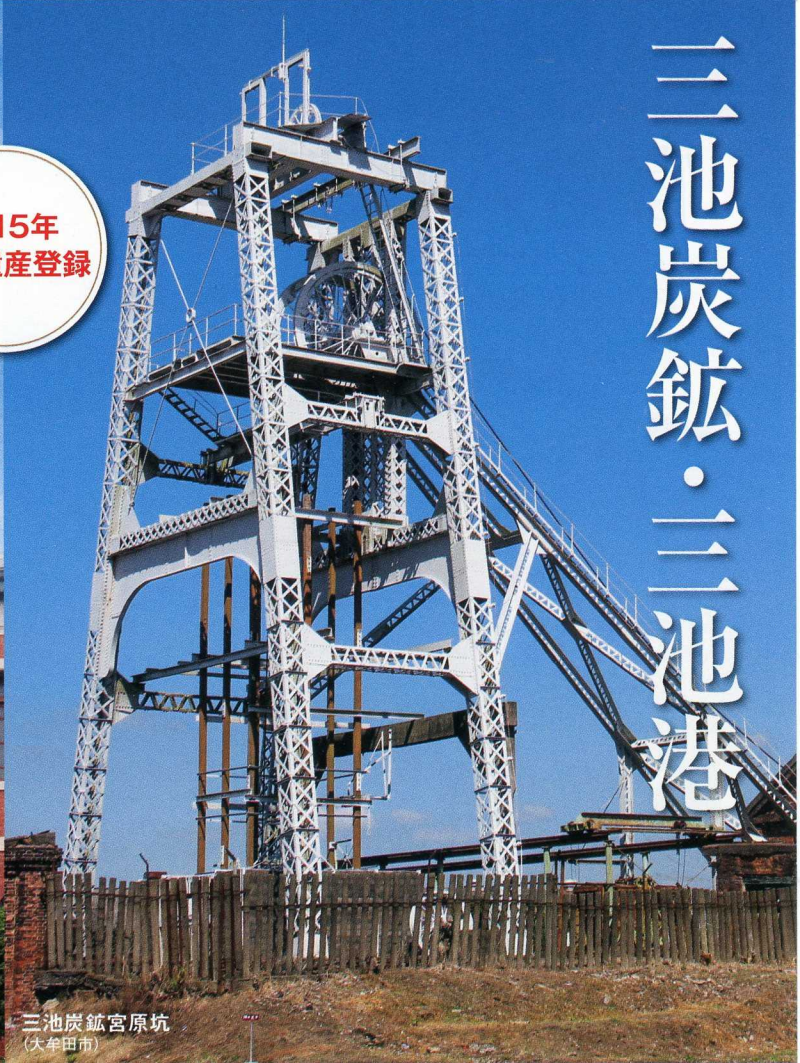
2015年
世界遺産登録



官営八幡製鐵所旧本事務所
(北九州市)(非公開施設)
写真提供:新日鐵住金(株)八幡製鐵所

三池炭鉱宮原坑
(大牟田市)

三池炭鉱・三池港



福岡県の世界遺産

日本の近代化を担った「明治日本の産業革命遺産」。
古くからの信仰を守り今に伝える「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」。
歴史の重みを背負い、語りかけてくる遺産を前にしてあなたは何かを感じとりますか。



2017年
世界遺産登録

宗像大社沖津宮(沖ノ島、小屋島、御門柱、天狗岩)(宗像市) ※立ち入りできません



世界遺産

技術立国・日本の礎を築いた遺産

明治日本の産業革命遺産

日本は、幕末から明治期にかけて西洋以外の地域で初めて、かつ極めて短期間のうちに産業化を果たし、飛躍的な発展を成し遂げました。本遺産は世界に特筆すべき発展の過程を証明しています。

詳しい情報は
こちらへアクセス

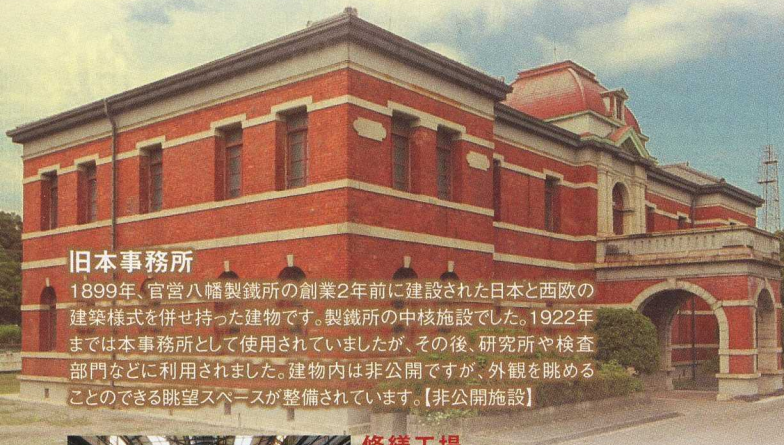


明治日本の産業革命遺産

官営八幡製鐵所

The Imperial Steel Works, Japan

日本の近代製鉄を担った世紀を超えた遺産



日本事務所

1899年、官営八幡製鐵所の創業2年前に建設された日本と西欧の建築様式を併せ持った建物です。製鐵所の中核施設でした。1922年までは本事務所として使用されていましたが、その後、研究所や検査部門などに利用されました。建物内は非公開ですが、外観を眺めることのできる眺望スペースが整備されています。【非公開施設】



修繕工場

1900年、ドイツの製鐵会社（GHH.社）が設計。当時は製作加工や機械の組立、修繕を行う工場でした。現存する日本で最古級の鉄骨建築物で、現在でも修繕工場として使用されています。【非公開施設】



旧鍛冶工場

1900年、GHH.社が設計、鋼材加工、仮組立を行った後、国内で建設された鉄骨建築物です。機械据付け用の金物や大型工具を造っていました。現在は、製鐵所が保有する古文書、写真など、約4万点の史料を保存する史料室となっています。【非公開施設】



遠賀川水源ポンプ室

1906年、第一期拡張計画が立案され、遠賀川から製鐵所まで水を送るために建設され、1910年に操業を開始しました。創建当初は蒸気力、1950年代に電動化されました。建物は今も当時のまま使用されています。【非公開施設】

写真提供：新日鐵住金（株）八幡製鐵所

三池炭鉱・三池港

Miike Coal Mine and Miike Port

日本一の出炭量を誇った近代化の象徴



万田坑

万田坑は、宮原坑に続き開削された三池炭鉱の主力坑です。1902年から1951年まで採炭が行われていました。現在、第二堅坑櫓、巻揚機室、旧扇風機室などが良好に保存されています。



三池炭鉱専用鉄道敷跡

各坑口から産出した石炭や各坑口で使用する資材、石炭化学コンビナートを構成する各工場の製品などを輸送するために敷設されました。石炭輸送だけでなく、一時は各坑口で働く鉱員など通勤者を運ぶ役割も担いました。



三池港

干満差の激しい有明海から石炭を直接大型船で搬出するために築かれました。上空から見た形がハチドリ（ハミングバード）のように見える優美な姿が特徴です。1908年の開港当時の姿を現在まで留める現役の港湾です。

写真提供：国土交通省九州地方整備局
博多港湾・空港整備事務所



宮原坑

1898年から1931年まで年間40～50トンを出炭した三池炭鉱の坑口の一つです。現在は第二堅坑が残り国内現存最古の鋼鉄製の櫓や煉瓦造りの巻揚機室、デビーポンプ室の壁などから当時の様子を偲ぶことができます。

世界遺産

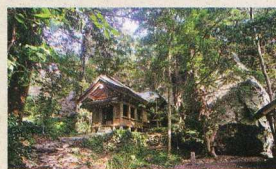
日本の礎が築かれた遙か古代から受け継がれてきた遺産 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

「神宿る島」を崇拝する伝統が、古代東アジアにおける活発な対外交流が進んだ4世紀から9世紀に発展し、今日まで継承されてきたことを物語る世界でも例のない遺産群です。

詳しい情報は
こちらへアクセス



「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



宗像大社沖津宮（沖ノ島）

古代祭祀遺跡の残る島全体が宗像大社三宮の一つで、宗像三女神の田心姫神が祀られています。



宗像大社沖津宮遙拝所

大島の北岸に立ち、「神宿る島」として立ち入りが禁止されている沖ノ島を御神体として拝むための場所です。



宗像大社中津宮

宗像大社三宮の一つで、大島の御嶽山の麓に宗像三女神の湍津姫神が祀られています。



宗像大社辺津宮

宗像大社三宮の一つで、九州本土の釣川沿いの地に宗像三女神の市杵島姫神が祀られています。



新原・奴山古墳群

沖ノ島に宿る神への信仰から宗像三女神信仰を育んだ古代豪族宗像氏の墳墓群です。

発行

「明治日本の産業革命遺産」福岡県世界遺産連絡会議（福岡県、北九州市、大牟田市、中間市）

事務局：福岡県人づくり・県民生活部文化振興課世界遺産登録推進室

TEL:092-643-3162 FAX:092-643-3163